

理工学研究科（工学系）の3つのポリシー

【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

博士前期課程

山形大学大学院理工学研究科（工学系）博士前期課程は、「21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に、学部よりさらに広い視野に立ち、精深な学識を養い、専攻領域における研究・技術的能力と高度な専門性に支えられた人材を育成すること」を教育理念としている。後期課程においては、前述に加え「自立して世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事する研究開発能力をもつ人材を育成すること」を目標としている。

山形大学大学院理工学研究科（工学系）博士前期課程においては、上記の教育研究の理念や目的に沿った教育課程を修了し、修士論文の審査および試験に合格し、以下のような能力や知識を修得した者に学位を授与する。

1. 専門領域に関わる深い知識を修得し、基礎から先端的分野において、自在に応用できる能力を身につけている。
2. 専門領域に関連する技術分野に関して幅広い知識を持ち、それを応用できる能力を身につけている。
3. 科学技術の発展と多様化に対応できる論理的な思考力や記述力、発表と討議の能力、国際的な情報収集能力を身につけている。

博士後期課程

山形大学大学院理工学研究科（工学系）博士後期課程においては、上記の能力に加え、博士論文の審査および試験に合格し、以下のような能力を修得した者に学位を授与する。

1. 学術的、技術的問題を自ら捉えてその意味を深く理解し、調査分析と定式化により仮説を検証する能力を身につけている。
2. 問題解決に革新的な方法を適用し、自ら創造性を十分発揮できる能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

山形大学大学院理工学研究科（工学系）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の方針に従って教育研究環境を用意する。

山形大学大学院理工学研究科（工学系）博士前期課程においては、

1. 専攻領域の基礎から先端分野に及ぶ体系的な授業科目を配置する。
2. 専攻領域の外国語の論文を理解し、研究や調査を学会や論文等で発表することができる実験、演習を行う。また、協定校で受けた授業科目を単位として認定する。
3. 学位取得後に社会で学生の能力が発揮できるよう、カリキュラムを配置する。

山形大学大学院理工学研究科（工学系）博士後期課程においては、上記の教育課程

の方針に加え、以下の教育研究環境を用意する。

1. 自ら学術的、技術的課題を設置し、新しい原理や手法を適応することにより、課題を解決して発見ができる実験・演習を配置する。
2. 産業の現場、各種研究施設又は他専門分野の研究室において、工学に対する視野を広め、問題提起・解決能力を養う授業科目を配置する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

■概要・特色

山形大学大学院理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）と博士後期課程（Doctor's Program）で構成されており、前期課程は、入学定員 211 人を数え、物質化学工学専攻、バイオ化学工学専攻、応用生命システム工学専攻、情報科学専攻、電気電子工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の併せて 7 専攻を設置しています。

また、後期課程は、入学定員 16 人で、物質化学工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の 5 専攻からなっています。

本研究科（工学系）前期課程では、「21 世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活性化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる教育研究機関」として実践している学部の教育を受け、更に広い視野に立ち、精深な学識を養い、専攻する分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備えた人材を育成するための修士教育を目標に掲げ、多くの優れた修了生を輩出しています。

後期課程においては、グローバル化の進む中、専攻分野における研究者として自立し、世界に通用する高度で専門的な研究・教育に従事するために必要となる高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って社会に貢献する人材を育成し、豊かな生活を築き、栄えある未来の創造に寄与しています。

■理念・目標

「専攻分野における学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立した人材を育成する」

「専攻分野の基礎知識を礎にした高度専門技術者・研究者・教育者の養成」

「自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院」

■求める学生像

博士前期課程

以下の人材を求めています。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲のある人
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行できる人
- 他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人
- 専門分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人

博士後期課程

上記に加え、以下の人材を求めています。

- 専門分野以外に対しても深い関心をもち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する技術者・研究者・教育者を目指す人